

令和5年度 自己評価書

学校名	北海道登別明日中等教育学校
-----	---------------

本年度の重点目標

(1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細やかな学習指導の充実 (2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実 (3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実 (4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語(英語)による思考力・判断力・表現力の育成 (5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実 (6)年齢の異なった生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視
--

自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
		小項目				
教務部	学習指導	1	シラバスを適切に運用し、授業の進度や難易度は適切であったか。	B	A	○次年度において重点的に取り組むべき課題 ①「評価のフィードバック」 ・単元等の評価結果を周知し、学習改善につなげていくサイクルの確立 「シラバス活用」「評価シート」等の工夫 ②「教科等横断的(探究的)な学び」 ・各期、各年次における到達目標等についての精査とスクール・ポリシーをもとに可視化を図る。 ・単元配列表の可視化 ・「探究＝総合」としてだけ捉えるのではなく、教科・科目の授業においても情報収集・レポート・実験・討論など「知識活用」「思考・表現」の場面を意図的に実施していく必要がある。 ③「ICT端末の活用」 ・「授業中は常時机の上に置く」「毎日持ち帰りをする」を基本的なスタンスとする。 ・持ち帰りに伴う課題等に対して議論を重ねて改善を図っていく。 ○教育課程については、各種アンケートや学校評価の結果など、エビデンスに基づきながら、本校の目指す教育を引き続き検討していく。
		2	生徒の学習意欲を喚起させるような方策を立て、実践しているか。	B	A	
		3	クロムブック等ICT機器を活用し、個別・協働的な学習指導を実践しているか。	A	A	
		4	身に付けさせたい資質・能力に基づく、きめ細やかな学習指導・評価の充実にも努めているか。	B	A	
		5	国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか。	B	A	
		6	異年齢集団による教育活動(行事や部活動等)の充実にも努めているか。	B	B	
		7	授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか。	B	A	
		8	校内研修を計画的かつ定期的に実施しているか。(研修を生かした教育活動を工夫しているか。)	B	A	
生徒指導部	生徒指導	9	生徒指導体制が確立され、状況に応じて組織的に対応しているか。	B	A	○生徒指導に関する教職員全体への情報共有の在り方 ・データ化して閲覧できるよう工夫する。 ○生徒指導部によるインシニアブ 「生徒心得」と指導場面の解釈について次年度に向け整理する。 ・生徒指導部だより等を活用し、年次指導に生かす。 ○教育相談 ・日常的に相談しやすい雰囲気づくりを行う。 ○文化祭・体育祭の実施 ・生徒の自主性を大切にしつつも、活動での成長を見通した特を教員が示す必要がある。 ○いじめの予防的な取組 ・SOSの出し方授業の実施や生徒との面談等を通し、初期段階からの丁寧な対応の重要性を共有する。
		10	発達段階や集団の構成に応じた望ましい生徒集団の育成に努める活動を展開しているか。	B	A	
		11	基本的な生活習慣を確立させるための指導を行っているか。	B	B	
		12	望ましい規範意識の育成につながる自律心を育む指導を行っているか。	B	B	
		13	教育相談体制が整備され、計画的かつ状況に応じた活動を行っているか。	B	A	
		14	いじめや学校不適応生徒への取組や、予防的な取組が適切に実施されているか。	B	A	
		15	生徒の自治的な活動を充実させる取組が適切に実施されているか。	B	A	
進路指導部	進路指導	16	6年間を見通した進路指導体制を確立し、希望進路実現に向けた組織的な指導を行っているか。	B	A	○6年生のセミナー受講者数 ・過去3年間で最も少なかったため、次年度は、セミナーの実施方法を改善する。 ○6年生セミナーの基本実施方針 ・原則として曜日固定で行うこととし、実施回数ができるだけ均等にするために一部曜日を変更しながら実施する。
		17	早期に自己理解を促し、生徒が主体的に進路選択できるように、計画的で系統的な進路指導を行っているか。	B	A	
		18	十分な進路情報の提供を行い、学校・生徒・保護者が一体となった指導を進めているか。	B	B	
		19	効果的な進路指導法の研究を行い、全教職員の指導力向上を図ることに努めているか。	B	B	
		20	進路相談体制を整備し、進路相談の充実を図っているか。	B	A	
		21	セミナーやスタディサプリ、模擬試験等を計画的に実施し、生徒の学習を支援しているか。	B	B	
生徒指導部	保健・安全	22	教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組(交通安全指導・避難訓練等)が行われているか。	B	B	○避難訓練 ・災害における「想定内の訓練」は実施しているが、想定外の事態(津波、地震、火災以外)に対応できる訓練を検討。
		23	日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を行っているか。	B	B	
		24	生命を尊重し、思いやりの心を育む指導を推進しているか。	B	A	
		25	校内支援体制が整備されているか。(教育相談、校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等)	A	A	
対外・総務	組織・運営	26	各種行事等におけるPTAとの連絡調整が図られ、適切な運営に努めているか。	A	A	○広報活動の改善 ・ホームページ以外の手段の活用も検討する。 ・本校の受検者数は100名(1.3倍)となった。次年度も学校案内パンフレットやポスターの内容を工夫しながら積極的な生徒募集活動を継続する。
		27	校外の関係諸団体と連絡・調整が図られ、行事等の適切な運営が行われているか。	B	A	
		28	学校評価を軸としたPDCAサイクルが確立されているか。	B	B	
		29	本校の教育活動を広く伝えるため、広報活動等の改善を行っているか。	B	A	
舎務部	寄宿舎	30	生活習慣を確立し、異年齢交流を活かした寄宿舎生同士の良好な人間関係の構築に努めているか。	B	B	○寄宿舎生に対する教育相談 ・舎務部による面談とSCによる面談で対応してきた。 ○寄宿舎の生徒総会 ・今年度、2回実施した。生徒自身に完全学習の意義、望ましい学習環境、クロムブックの使用の仕方等について見直す機会を持たせた。 ・学習環境の整備のためのガイドラインを見直し、生徒・教員に共有する機会を持つ。
		31	主体的に生活改善する姿勢の育成のため、各回生のリーダーやエリアリーダーを中心とした組織運営を行っているか。	B	B	
		32	HR担任や宿直担当、スクールカウンセラーと連携して教育相談を効果的に実施しているか。	B	A	
		33	回生に応じた学習環境の整備と、学習意欲の向上を図っているか。	B	B	
その他	経営方針等	34	道内唯一の道立中等教育学校として、ここでしかできない教育を探究できているか。	B	B	○本校が目指す教育について ・生徒・保護者の意見を踏まえながら、生徒の自己有用感、自己肯定感を育てるために、普段から教職員がどのような心持ちで取り組んでいくかが大切である。 ・特色化を出すための便利なツールはない。「本校の学びを通して身に付けさせる資質能力」を日々の教育実践として積み重ねていくことが大切である。
		35	研究指定での成果を教育活動に応用しているか。	B	B	
		36	校内研修日の完全下校を実施し、研修に努めやすい環境整備をしているか。	B	A	
		37	完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間縮減に向けた取組がなされたか。	B	B	

次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

令和5年度 自己評価書

- | |
|--|
| <p>(1) 中等教育学校の特色を生かした「ここでしかない教育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の発達段階に応じた「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的充実による学習意欲、自己有用感の向上・「教育課程の基準の特例」による学びの連続性や「少人数指導」を活かした効率的・効果的な学習指導 <p>(2) 計画的・系統的な教育活動を推進するための組織運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none">・観点別学習状況の評価を基にした組織的な授業改善に向けた取組の推進・分掌部長、年次主任を中心とする意識的情報共有と早期からの組織的な対応 |
|--|